はじめに

　はじめまして、
この本を手に取ってくださったあなた。

　本書は、いかに私たちの心が縛られていたか、いかに生きづらい設定の中で人生を歩んできたかということについて、現代の常識や価値観をスピリチュアルな視点から見つめ直し、AtoZ方式で書き綴ったものです。

　項目の中には耳慣れない言葉や、一見スピリチュアルとは関係なさそうな、K-POPに関する内容も随所にちりばめてあります。

　長年にわたり、他者の悩みに寄り添ってきたなかで気づいたのは、世間一般の『答え』に対する違和感でした。
　多くの方にとっての正解が、誰かにとっては不正解であり、正しいとされていることが全員に当

てはまるわけではないことを、改めて知っていただきたいのです。

人にはそれぞれ準備してきた人生の課題があり、内容もやさしいものから複雑怪奇なものまで、幅広く設定しています。

一見誤りとしか思えない判断が、実はその人にとっては大正解であることも少なくありません。

本心では違う道を選びたいのに、常識に逆らえず目の前に用意された道を歩みはじめた方、または一歩がどうしても踏み出せず立ち尽くしている方、もう道半ばまで来たものの、このまま進んでいいものか迷っている方にも、読んでいただきたい内容となっております。

かくいう私も迷い、惑い、さまざまな道を歩んできました。

学生の頃より30年あまり『占い』を他者に提供してまいりましたが、スピリチュアルを生業としたのはたった2年前からです。

幼少期から生きている人間と死者の区別がつかず、異次元や高次元の存在とコンタクトを取りながら成長してきたにもかかわらず、スピリチュアルを仕事とすることには抵抗がありました。

仕事というものは辛苦に満ちたものであって、複雑な人間関係やストレスに揉まれながら行うものだと信じていたからです。

得意なことや好きなことを職業に選んではいけないという思いから、スピリチュアルを遠ざけていた期間もありました。

そんななか、2020年には世界中で未曾有のパンデミックが起こり、時を同じくして『風の時代』が到来しました。

その大風に吹かれ、もう本当にやりたいことしか仕事にしない！　と自分自身に誓い、現在に至ります。

占いやスピリチュアルカウンセリングで生計を立てる前は、看護師として総合病院で11年間勤務し、故人対話や病気の心因や因果関係について学びを得ました。

この場所は約束していた多くのソウルメイトに出会い、設定していたハードモードな経験をもっとも積んだ修業場でした。

その後は数年の育休を経て、認定こども園に6年間勤務し、多くのスターチルドレンと触れ合う機会を持ちました。
出生星によって異なる特性や目指す生き方の違いを発見する一方で、そんな宇宙由来の魂を持つ子どもたち特有の育てにくさにも直面し、保護者や保育者とともに頭を抱えました。
観察を重ね、どうすれば親も子も楽に接していけるかを考え、必死に学んだ場所でした。

実はこの2つの職業は私がもっとも敬遠するものでした。
医療家系で育ったため、生死に関わる重責や夜勤のつらさを身近に感じていましたし、家庭が複雑だったため『幸せそうな子ども』と接するのは、とてもつらかったからです。
……人生ままならないものです。

　そのおかげで、多く寄せられるお悩みに対する、知識や経験に基づいた武器を得ることができました。
　今では、すべて必要な道程だったと感謝しています。

　悩ましい人間関係に煩わされ、深い悩みや迷いの中にいるとき、この本があなたと仲良くなり、人生のガイドブックや処方箋となりますように。

2023年11月11日
看護師・子育て支援員・スピリチュアルカウンセラー
☆εｒｉｋｏ★